

17 草地関連基盤整備<公共>

【令和5年度予算概算決定額 332,303（332,136）百万円の内数】

<対策のポイント>

飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営の実現を図るため、畜産経営規模の拡大や畜産主産地の形成に資する飼料生産の基盤整備等を推進します。

<事業目標>

飼料自給率の向上（25%〔平成30年度〕→34%〔令和12年度まで〕）

飼料作付面積の拡大（89万ha〔平成30年度〕→117万ha〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. 大型機械化体系に対応した草地整備

大型機械による効率的な飼料生産を推進するため、草地整備、排水不良の改善等の整備を推進します。

【主な工種】草地の区画整理、暗渠排水 等

【主な改正内容】

①公共牧場整備事業

受益面積：60ha（200ha）以上・中山間地域 30ha（100ha）以上

②再編整備事業

受益面積：30ha（200ha）以上・中山間地域 15ha（100ha）以上

③利用施設整備事業

堆肥のペレット化に必要な施設の新設又は改良を事業メニューに追加

※（ ）内は、緩和前の要件

2. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

効率的な飼料生産基盤を形成するため、土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による草地の湛水被害等に対処する整備を実施します。

【主な工種】整地、暗渠排水、排水施設 等

<事業の流れ>

1/2等

都道府県

（1の事業の一部）

国

1/2等

都道府県

1/2等

事業指定法人

（1の事業の一部）

※ 2の事業は、直轄で実施（国費率3/4）

<事業イメージ>

飼料生産の基盤整備

<整備前>

排水性の悪い草地

急傾斜地

排水性や起伏条件の悪い草地

草地整備

暗渠排水

起伏・勾配修正

<整備後>

排水不良の改善

急傾斜地→緩傾斜地

良好な飼料生産基盤の実現

基盤整備による効果

飼料作物の収量増加

大型機械での効率的な収穫による生産コストの削減

生産基盤の強化を通じた生乳生産の省力化

生産基盤の強化を通じた肉用牛出荷頭数の増加

【お問い合わせ先】

（1の事業）畜産局飼料課

（03-6744-2399）

（2の事業）農村振興局防災課

（03-3502-6430）